



村営高根スキー場開設

村民待望の村営高根スキー場が1月26日開設致しました。
 村民の皆様には、ぜひご利用していただき、日ごろの運動不足を解消してもらいたいものです。



蓬田村公民館報
 (蓬 門) 第89号
 発行所
 青森県東津軽郡
 蓬田村 公民館
 印刷所
 (株)新印刷興業

<世帯と人口>

世帯数	1,001
人口	男 2,334
	女 2,421
計	4,755
(48. 1.30現在)	

蓬田駐在だより

住民コーナーを 大いに利用しよう

- 住民コーナーが、昭和四十八年一月に開設され満一年を迎えました。県民の各種の相談等一つの窓口で受理し、その内容によって警察組織あるいは関係機関と連絡をとりながら解決にあたっております。
- これまで(昭和四十八年一月〜十月)に警察署住民コーナーで取り扱ったのは二、六五二件で、そのうち二五一六件の九五%を解決しております。
- 取り扱った主なものは交通関係、生活関係、法令の質疑で全体の八五%を占めております。
- 警察署住民コーナーに加えて、このたび「警察本部住民コーナー」が開設されましたので今後ますます村民の皆様のご利用を期待しております。
- ◎ 相談などに費用はかかりません。また、秘密は守ります。
- 警察行政に関係したもの
- ・ 警察職員の仕事のしかたや態度などについて
 - ・ そのほか、警察行政の全般について
- 生活に関係したもの
- ・ 身上についてのことがら
 - ・ 家族や親類のいざこざ
 - ・ 土地、建物、地代、家賃について
 - ・ 物や金銭の貸借について
 - ・ 法律でわからないこと
- 防犯に関係したもの
- ・ 少年の非行防止その他の問題について
 - ・ 村民生活をおびやかす公害および迷惑行為について
 - ・ 家出人や出稼ぎなどでの所在不明者等について
- 交通に関係したもの
- ・ 交通事故の相談について
 - ・ 交通関係法令の質疑について
 - ・ 交通違反の処分、点数制度や講習について
- 暴力に関係したもの
- ・ 暴力行為の追放について
 - ・ 暴力団犯罪の被害者や参考人等の保護について
 - ・ 暴力団による犯罪および迷惑行為の被害等について
 - ・ その他暴力事犯の被害等について

「蓬門」原稿募集
 「蓬門」の原稿を募集いたします。どんな事でもよいです。原稿を送って下さい。

原稿送付先
 蓬田村教育委員会

子ども会卓球大会の開催

例年行なわれている各部選手ども会対抗卓球大会が一月二十七日開催されました。

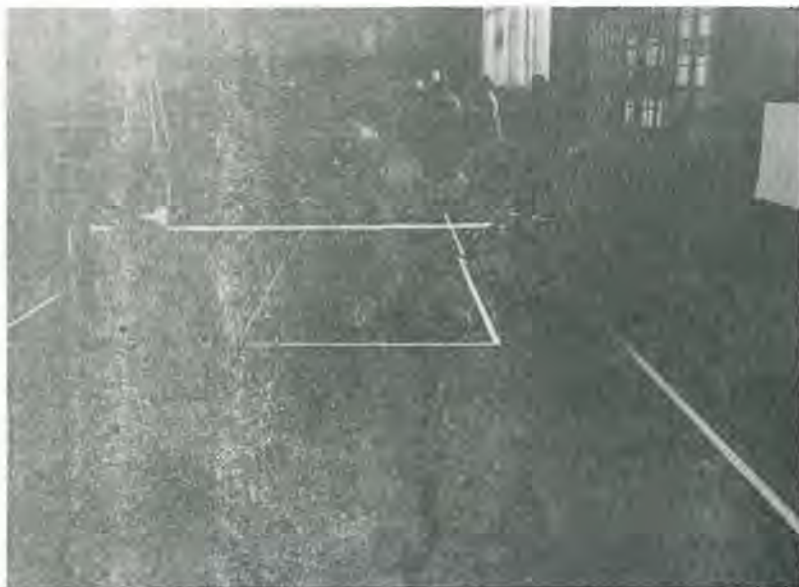
寒さにもまげず子ども達は、大熱戦をくりひろげました。

- 結果は次のとおりです。
- 二位 清水春明(蓬田)
 - 三位 木戸洋司(瀬辺地)
 - 三位 越田正夫(瀬辺地)
 - 中学一年の女子
 - 一位 久慈歌栄(広瀬)
 - 二位 室谷れつ子(蓬田)
 - 三位 木野田ゆみ子(瀬辺地)

- 三位 坂本るい子(長科)
- 中学二年の男子
- 一位 青木一義(郷沢)
- 二位 小松靖人(蓬田)
- 三位 松本正紀(長科)
- 三位 細谷正宏(蓬田)
- 中学二年の女子
- 一位 中川寿美子(郷沢)
- 二位 坂本賢子(中沢)
- 三位 藤本端枝(長科)
- 三位 久慈満喜子(瀬辺地)

- 優勝 蓬田子ども会
- 二位 郷沢子ども会
 - 三位 中沢子ども会
 - 三位 長科子ども会

- 個人戦
- 四年生の男子
 - 一位 藤本範義(長科)
 - 二位 吉田博雄(中沢)
 - 三位 福田康則(郷沢)
 - 三位 吉田望務(阿弥陀川)
 - 五年生の男子
 - 一位 藤本智和(長科)
 - 二位 八戸一人(阿弥陀川)
 - 五年生の女子
 - 一位 三上厚子(中沢)
 - 二位 青木由香利(郷沢)
 - 三位 小松久美子(蓬田)
 - 三位 森 優子(阿弥陀川)
 - 六年生の男子
 - 一位 八戸 晃(阿弥陀川)
 - 二位 工藤齊毅(長科)
 - 三位 坂本忠弘(中沢)
 - 中学一年の男子
 - 一位 藤田 昇(中沢)



『蓬田村青年団体連絡協議会昭和四十九年度事業計画決まる』

とても寒い晩です。仲間達が白い息をハァハァさせながら『お晩です。』と公民館に集まってきました。ドアを開けた途端、暖かいストーブの熱気で張りつめていた頬が思わずにっこりと緩みます。一月二十六日中央公民館において臨時総会を開催。今年の事業計画、予算等を話し合いました。今年には特に青年団の土台である各単位組織の強化を目標に次のような事業が組織されました。

時期 事業内容

- 1月 各単位団が主体となつて自主的活動を行う。
 - 3月~4月 新入会員入会式
 - 4月 マラソン大会
 - 6月 (東郡青年団スポーツの集いに参加)
 - 7月 奉仕活動(玉松台清掃)
 - 8月 (県民体育大会、青年大会に参加)
 - 9月 文化祭(協議会十周年記念式も含む)
 - 11月 県外研修
 - 12月 球技大会
- 。協議会十周年記念文集を発行。

私達地域青年にとつてこの生まれ育った『蓬田』こそ活動の場です。みんなと一緒に何かをやっていく過程で自己成長と仲間づくりと、互いの連帯感を生み出せたらいいと思います。ふるさとで生活している仲間と共に、この地域を抱えている様々の問題を考えあい、やがてはこの村

を私達が背負う時が来るのだとしみじみストーブを囲み話し合いました。

※「青年」の語源を御存じですか？「青雲の志を立てる年代」という意味だそうです。あなたは青雲の志を持っていますか？この気持のある人は、いつまでも若いのではないでしょうか。

村づくりと教育を語る村民集会の開催

明るく豊かなすみよい村づくりをスローガンに蓬田村社会教育集会を開催することになりました。

研究主題は「村づくりにつながる村民の学習、実践活動はどうあればよいか。」です。

これを五つの分科会にわけて研究討議するわけです。

- 一は、本村の社会教育はどうあればよいか。
- 二は、家庭教育学級における運営と学習内容はどうか。
- 三は、PTAの学習と活動はどうあればよいか。
- 四は、婦人団体の自主運営と主体的活動はどうあればよいか。
- 五は、高令者学級の学習内容と施設はどうあればよいか。

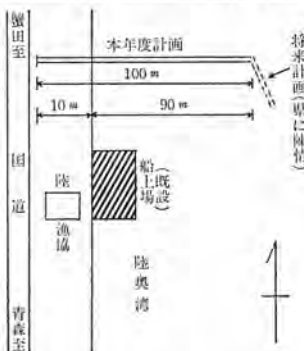
期日は昭和四十九年三月二日で蓬田中学校を会場に行ないます。村民各位の参加を心から望みます。

恒例消防初午二月十日実施

エネルギー、石油危機など、燃料節約のため、各方面で消防出初式が中止されているが、本村消防団では団員の士気低下を懸念し二月十日実施すことになりました。しかし火災演習は中止しそのほかは例年通り実施致します。

二つの山村地域農林漁業特別対策事業

一、外かく施設(防波堤)着工
昭和四十八会計年度において、蓬田漁港区域内に外かく施設を設置するはこびとなった。当事業の根拠は山村地域農林漁業特別対策事業(国庫補助事業)である。これは、本村における漁港整備をはかり、さらに一層の合理化・能率化を目指すものである。いわゆる海洋開発の先行投資であり、将来の漁業経営における収益の向上を目的としている。現在総工事費、一千三百八十万円で建設中でありその計画平面は次のようになっている。



二、農業基盤整備の促進
昨年末に、農業基盤整備を目的として、トレンチャー(暗渠用)とキヤタピラーが購入されました。現在キヤタピラーは、除雪作業に活用中であります。

これらの建設機械の購入により農業基盤の整備と共に、農業構造改善も増進することが、より望ましい道のようにも思われる。本村の地勢あるいは現在の情勢からみて、これからは農業主体であろうとすれば、構造改善が一層進められ、農業経営における分業化ないしは協業化、さら

には、販売ルートの確保など、まだまだ改良すべき選択の道が残されているように思われる。これらが達成された時、農業における経済的な安定性を手中にすることができよう。このような意味からしても、トレチャラー、キヤタピラーの購入はこれからの本村農業の第一歩と考えております。

戸籍の窓口

(四十八年十二月分)
(市町村名はすべて本籍地の表示です。)
◎ ご結婚おめでとございます。

- (原) 木内 孝 (青森市)
- (小山) 由紀子 (蓬田)
- (高田) 金悦 (郷沢)
- (坂本) 勝利 (青森市)
- (福井) 光幸 (郷沢)
- (木立) 節子 (青森市)
- (青木) 直孟 (阿弥陀川)
- (細越) 登喜子 (八戸市)
- (藤本) 昭二 (長県)
- (藤田) みさ子 (栃木県)
- (我妻) 良一 (宮城県)
- (高田) 美千代 (郷沢)
- (青木) 由郎 (阿弥陀川)
- (軽部) ひろ子 (東都府)
- (石岡) 良一 (蟹田町)
- (越山) 千春 (郷沢)
- (柏木) 玖仁雄 (長川県)
- (坂本) 洋子 (青森市)
- (次郎) 広敏 (北海道)
- (山館) 純子 (阿弥陀川)
- (川内) 勝成 (阿弥陀川)
- (細谷) 健三 (青森市)
- (須藤) 健三 (阿弥陀川)
- (武井) 静代 (蓬田)
- (石山) 常夫 (蓬田)
- (清水) せつ (蓬田)
- (越平) 豊 (五所川原市)
- (鈴木) 都 (阿弥陀川)
- (三上) 照穂 (北海道)

- (榎木) 正明 (蓬田)
- (小松) 章子 (郷沢)
- (坂本) 義心 (中沢)
- (水野) 春枝 (千葉県)
- ◎ ご誕生おめでとございます。
- 伊予部 誠子 (良長男)
- 山館 泰 (長男)
- 三浦 浩紀 (浩司長男)
- 松本 冬美 (友珍二女)
- 山館 麻衣子 (五十一長女)
- 佐井 博郷 (専蔵長男)
- 八戸 一枝 (一男長女)
- 坂本 智恵 (今朝男長女)
- 小野 笑理子 (博雄長女)
- 森 理 (柳長男)
- 山館 創 (信博長男)
- 天内 健二 (明二男)
- お悔み申し上げます。
- 越田 喜三郎 (瀬辺地)
- 榎引 正昭 (中沢)
- 八幡 悟 (高根)
- 角山 勇吉 (蓬田)
- 倉谷 昭吉 (阿弥陀川)
- 三上 初太郎 (中沢)
- 久慈 みさ (瀬辺地)
- 田中 重助 (広瀬)

自主性を培う教育とその成果

毎週、木曜日になると、「先生、きょうは何をやるのですか。」と、思いがけない生徒が、廊下ですれちがいにさまに話しかけてくる。ふだん教室ではあまり目立たない生徒が、週一回の必修クラブのある日は、朝から目が輝くのである。本校は、今年度の研究課題を、「生徒が自主的にクラブ活動を取り組むための指導はどうあればよいか」と定めている。ここでいう

「クラブ」は、従来の課外活動の「部」ではなく、文部省の教育課程にある、いわゆる必修クラブのことである。前期は、戸外の運動を奨励するねらいもあって、運動クラブを多く設けたが、後期は、文化・生産クラブを主とし、十三のクラブが活動している。ユニークなクラブを紹介すると、まず、「ねぶた絵」の製作に励んでいる美術クラブがある。半截の奉書に、ろうを引き、墨で太い輪郭を書ける。墨の黒い線がなかなか雄渾(こん)なタッチなので目をみはる。卒業式のころには、校内のどこかに、雄壮な扇ねぶたが飾られているだろう。教育の場に、民俗芸能や、伝統工芸を取り入れられてきている。たとえば津軽塗りなども、中学校技術科の教材になっている。郷土について理解を深めることになるのでたいへん良いことである。本校でも、生徒とともに、「ねぶた絵」に取り組んでいる佐藤養教の存在は心強い。北条教諭の膝下(しつか)には、点字を学ぶ生徒が、男女約三十人ほど集まっている。目下点字器を使って、点字の基本練習に余念がない。年度末には、点字で手紙を書けるくらいに上達するそうである。点字そのものの上達もさきながら、盲人への理解が深まればさらに貴重な体験になると思われる。囲碁クラブは、このほど日本棋院から二段の免許を得られた相内教諭が熱心に指導している。十九人のクラブ員に対して、まず、囲碁の正しい礼儀を教える。とかく勝負のみにとらわれがちな生徒に、定石の研究などもやらせている。将棋クラブは三十三人もの多数の生徒を擁し、指導の先生も木浪・白鳥両教諭である。これは囲碁よりも上達が早く、うっかりしていると先生が負かされたりすることもある。ふだん腕白な生徒が、ここばかりは真剣な顔つきで対局している光景はなんとなくほろほろする。バトン・トッパアーククラブは、これまで、蓬中祭、運動会などで一部披露されたが、現在のクラブ員を中心に、今後と続けていけば、蓬中ブラスバンドと一緒に、校内外の諸行事に色どりをえることもできるだろう。佐藤(淳)教諭が熱心に指導している。あまつがせくものかるたクラブとよーかるたクラブが集まっている教室からは、生徒が、百人一首の和歌を朗唱している声が聞こえてくる。かるたクラブは、数組の百人一首を並べて対面し、正しい作法にしたがってかるた取りをやっている。和歌は日本個々の文芸ジャンルであるからなんととしても若い中学生のときからもつと理解を深めねばならない。国語担当の森教頭が熱心に指導するゆえんである。

富田教諭指導の「写真クラブ」は十五人のクラブ員を擁し、撮影・現像・焼付・引き伸ばし、さらにパネルの製作までやろうとはりきっている。作品の展覧会を開くことには到っていないが、かいま見たことによる、人物近写では、顔の表情が良くとれていそうと思つた。指導の効果はやはり歴然としている。

その他のクラブでは、調理と手芸クラブでは実習を主とし、家庭科の授業でできないものややっているの

を待ちこがれている。子どもの個々の創造性を伸ばす教育は、たとえは、本校のクラブ活動のような場を与えてやること、たちまちの効果が現われる。しかし、われわれが課題としているのは、自主的に行動できる生徒、なのである。単に、何かを身につけたとか、じょうずになったとかいうだけなら生徒にとっては喜びであろうが、それは形の上での変容であるにすぎない。

このほど、今年度二回目のクラブ意識調査をして、みていわれる。クラブ不適応児が、当初十数パーセントであったのに、今では皆無に近いまで減った。このことを認めることができた。本校の生徒は、人間形成の上でも、自主性の向上でも、あきらかに向上に変容しつつあるように思う。その最終的な成果は、生徒らの将来まで待たなければならぬことである。

クラブや部以外に活躍した生徒としては、「団体ポスター」に、二年の坂本慶子の作品が、みごとに入選を果たしたことがあげられる。図が青森県の上空に、県鳥の白鳥が羽ばたいているもので、色調もあわよく、少女らしい純真さや、物事をすなおにみる心が、審査にあたった方たちの心をひきつけたものだろう。応募作品百数十点の中からは、わずかに数点まで厳選された中には、いったんたのだから、なんとしても賞賛に値する。

同時に応募した大川誠二の作品も佳作には、いっただけである。「青森団体」をPRする会場が開かれ、このポスターが、多くの人の前に展示された。美術科担当の高橋中村校長が、側面からこのポスター製作に心血をそそいだことも忘れてはなるまい。

体育科では、全生徒に「一走行距離くらべ」をやらせてきた。これは、

体育の学習時間中に、あるいは放課後などの時間に、生徒がグラウンドを走った距離を累積していくものである。陸上競技部の男子の何人かは、すでに百五十キロも走り続け、雪がつもった今でも、まだ走行距離を延ばしつつある。蓬田から県境までを往復走破するくらいの走行距離となるだろう。進化論的に言えば、「一走行」ことは、人類に残された最後の動物の機能であり、尾腰の鍛練と、体力の増進のため、これに勝る運動はない。

九合 唐突な例を引いて恐縮だが、作者の九合は、今から百五十年ほど前の文政年間、阿弥陀川村にいた俳人である。また、上磯地方の根本史料「積載割記」に著わした青木彦兵衛も阿弥陀川の村役であった。これらの人は、それそれ立派な業績を残し、後世まで名をとどめた地域の先覚者である。

農村地域の子弟の教育にたずさわって思うことは、村落の構造の歴史的形成の歴史的課程を知らなければならぬというところである。この点の納得がない限り、求める人間像が形づくられないし、したがって腰を据えた教育もできない。

かつて蓬田村史を通過させてもらったが、各時代の村落の様子や、そこ息づいていた村人の姿、おぼろげながらイメージ化することができた。近世封建社会にありながら、何もかも偽政者の言いなりになっていたわけでもない。生活を守るために、生活を豊かにするために、村人たちは抵抗もしたし、くふうもした。今日という自主的な行動もあつたわけである。

筆者は、三百名の少年少女諸君と毎日この学びやで暮しながら、彼等が、一まだまだ、磨かれざる玉である。近く近代的な、すばらしい校舎が完成することになっているが、蓬中生徒の練成の場として心から喜ぶつつ春を待つている。蓬田の子供たちが無限の可能性を秘めている故に。(蓬田中学校 木村慎一)

去る一月十九、二十日、浅虫雪花荘において、東青地区の青年団体リーダー研修会が開催されました。本村青年団体からは二十名ほど参加し、まして、リーダーとしての心がまえや知識を学習して来ました。近年、とくに青年団体活動の無気力が云々本村の青年団体連絡協議会が、諸先輩方の指導よろしく年々活発になってまいりました。今後こういうリーダー研修会には、進んで参加しリーダーとしての知識をいっそう身につけてもらいたいものです。

国民年金シリーズ(一)
国民年金制度とは
厚生年金保険、船員保険、各種の共済組合などの年金制度は、国民年金制度がつけられる以前からあった制度で、会社や工場に勤めている人などが、みなさんがよくご存知の恩給というののもこの一つです。

このようななかで、農林漁業、サービス業などの自営業者、その家族あるいはその従業者といった人々の強い要望によって、昭和三十六年四月から保険料の拠出が開始されました。

この制度には必ず加入しなければならぬ人があり現在、強制加入者では全国で一、九六九万人、当村では一、五五六名、任意加入者は全国で四七一万人、当村では一〇四名の人が加入しています。

給付としては老令(通算老令)年金、障害年金、母子(準母子)年金、遺児年金及び寡婦年金のほか、死亡一時金があります。

この国民年金制度は、保険料を納めることが困難な人には保険料を免除する制度、また母に保険料を納めておきたい人には保険料を前納する制度等がありますので、免除を受けたい方、前納したい方は役場国民年金係へ気軽に問い下さい。

去る一月十二日、玉松公民館において出稼組合総会が開催されました。総会に先立ち、午前中保健所長に来村していただき健康診断と出席者各位の適切な健康管理の指導をお寄せいただきました。午後、総会を開催し、議案審議のあと役員選任に移り次のとおり選任されました。

出稼組合総会終って
去る一月十二日、玉松公民館において出稼組合総会が開催されました。総会に先立ち、午前中保健所長に来村していただき健康診断と出席者各位の適切な健康管理の指導をお寄せいただきました。午後、総会を開催し、議案審議のあと役員選任に移り次のとおり選任されました。

この制度には必ず加入しなければならぬ人があり現在、強制加入者では全国で一、九六九万人、当村では一、五五六名、任意加入者は全国で四七一万人、当村では一〇四名の人が加入しています。

給付としては老令(通算老令)年金、障害年金、母子(準母子)年金、遺児年金及び寡婦年金のほか、死亡一時金があります。

この国民年金制度は、保険料を納めることが困難な人には保険料を免除する制度、また母に保険料を納めておきたい人には保険料を前納する制度等がありますので、免除を受けたい方、前納したい方は役場国民年金係へ気軽に問い下さい。

出稼組合総会終って
去る一月十二日、玉松公民館において出稼組合総会が開催されました。総会に先立ち、午前中保健所長に来村していただき健康診断と出席者各位の適切な健康管理の指導をお寄せいただきました。午後、総会を開催し、議案審議のあと役員選任に移り次のとおり選任されました。

出稼組合総会終って
去る一月十二日、玉松公民館において出稼組合総会が開催されました。総会に先立ち、午前中保健所長に来村していただき健康診断と出席者各位の適切な健康管理の指導をお寄せいただきました。午後、総会を開催し、議案審議のあと役員選任に移り次のとおり選任されました。

出稼組合総会終って
去る一月十二日、玉松公民館において出稼組合総会が開催されました。総会に先立ち、午前中保健所長に来村していただき健康診断と出席者各位の適切な健康管理の指導をお寄せいただきました。午後、総会を開催し、議案審議のあと役員選任に移り次のとおり選任されました。

出稼組合総会終って
去る一月十二日、玉松公民館において出稼組合総会が開催されました。総会に先立ち、午前中保健所長に来村していただき健康診断と出席者各位の適切な健康管理の指導をお寄せいただきました。午後、総会を開催し、議案審議のあと役員選任に移り次のとおり選任されました。